社会福祉法人一期一会福祉会

令和６年度　事業計画

Ⅰ．一期一会福祉会の基本姿勢（一期一会福祉会の理念）

一期一会の心とは、その時その時の中にある、二度とない出会いを大切にし、この出会いという宝物を感謝と尊敬の心で受け止め、常に思いやりと愛の心を持っておもてなしをすることです。 私は、一期一会福祉会の職員として、一期一会の心を実践し、喜びと生きがいが共感できるよう、前向きに取り組んでまいります。

Ⅱ．一期一会福祉会が目指す社会福祉法人の姿（一期一会福祉会が考える大切なこと）

～たくさんの笑顔の花を咲かせたい～

① 私たちは、社会福祉法人として人生の収穫期を過ごされる皆様に安心して生活していただくために、一期一会のおもてなしでサービスを提供し、地域で信頼される存在であり続けます。

② 私たちは、社会福祉法人として基本理念「一期一会の心」のもと、法令を遵守し、公益性、効率性、継続性を重視するバランスのとれた運営に努めます。

③ 私たちは、一期一会の出会いで共に働く職員が協調し、ご利用者様の生活に寄り添うことで学び成長できるよう、尽力します。

Ⅲ．重点課題

① 経営の安定化に向けた取り組みと継続的な組織体制の強化

② 福祉人材確保・育成・定着に向けた取り組みと効果的な広報戦略

③ 地域共生社会の実現に向けた社会福祉法人の取り組みの強化

〈各重点課題への取り組み〉

【重点課題①】経営の安定化に向けた取り組みと継続的な組織体制の強化

（１） 経営の安定化に向けた取り組み

1. 人事計画、職員体制の適正化
2. 業務システム・マニュアルの見直しによる業務の効率化及び標準化
3. ICT 等の活用と生産性向上（各種助成金・補助金の積極的な活用含む）
   - 勤怠管理システムの導入及び円滑な運用により業務効率化・生産性の向上を図る
   - 介護ロボット等の導入により業務効率化・生産性の向上を図る
   - 科学的介護情報システム（LIFE）の活用
   - 利用者及び家族との連絡体制の構築
4. 老朽化に伴う修繕計画策定及び計画的な実施（リスク要因への対応）
5. 収支計画策定及び執行
   - 決算黒字化（赤字回避）に向けた収支計画の策定及び執行（経常増減差額±0 円）
6. 目標稼働率及び目標収入の達成と安定化
   - 目標稼働率及び目標収入の適正化及び実績確認（利益を生み出すための目標設定及び達成確認、未達成時の解決方法検討・実践）
7. 法改正等情報収集（専門家との連携）と対応
8. 各種組織団体との連携・協力による情報収集と法人の要望等の政策的実現
   - 全国老施協・愛老協・全軽協・経営協等との連携を図る
9. 感染症対策の継続と変化への対応

（２） 継続的な組織体制の強化

1. 法人の理念・法人の考える大切なことの職員への浸透
   - 継続的な発信：理事長法人運営会議等への参加等
2. 法人本部体制の強化
   - 役割明確化、労務・財務・法務・経営企画・情報システム部門等との連携を図る
3. 法人管理者による共通認識、情報共有ができる会議等の充実
   - 管理者会・荘長会議内容精査
4. 法人運営会議の実施、向上（内容精査）
5. 「**ichigoichie×SDGs**」としての取り組み「働きがいも経済成長も」

【重点課題②】福祉人材確保・育成・定着に向けた取り組みと効果的な広報戦略

（１） 福祉人材確保・育成・定着に向けた取り組み

1. 処遇改善施策への対応
2. 外国人介護人材の活用
   - 特定技能制度を活用しての人材確保及び今後の本格活用に向けての検討
3. 「働き方改革」への対応と働きやすい職場環境づくり
   - 正規職員の年休取得日数平均 10 日
   - ハラスメント防止対策の運用と推進
   - 「職員を大切にして、仕事のストレスをコントロールできるように努める」の実践

4. インターンシップ・仕事体験・資格取得の為の実習の継続的な受入
   ・採用にかかわるインターンシップ・仕事体験を受け入れ、就職への動機づけとする
   ・近隣小中学校および高等学校からの職場体験を積極的に受け入れる
5. 職員研修体制の確立
   ・キャリアパス制度の稼働に向けた研修内容の精査
6. 人事評価制度の策定
7. 福利厚生・奨学金・貸付金制度の周知
8. 資格取得支援制度の周知
9. 求人方法の確立・継続・更新
10. 「ichigoichie×SDGs」としての取り組み「すべての人に健康と福祉を」

（２） 効果的な広報戦略の推進

1. 福祉の職場のイメージアップに向けた取り組み
2. 法人の理念・法人の考える大切なことの発信
   ・理事長による発信（職員の慈愛の心を育むこと）
3. インターネットやSNS、広報誌等による各種活動及び制度の情報発信

【重点課題③】地域共生社会の実現に向けた社会福祉法人としての取り組みの強化

（１） 自律的な法人経営の確立

1. 社会福祉法人のガバナンスの確立に向けた取り組みの強化
2. 社会福祉施設の再生産と資金調達に向けた課題整理
   ・地域ニーズに合わせた新たなサービスの検討・拡充
   ・地域での生活を継続するための事業所間連携・サービス変更
3. 事業継続に向けた報酬改定、公定価格見直しへの課題整理
   ・令和６年度介護報酬改定への対応
   ・事業継続に向けた取り組み『感染症対策BCPの定期的な見直し』
   ・事業継続に向けた取り組み『災害対策BCPの定期的な見直し』

（２） 「地域における公的な取り組み」の推進

1. 地域の行政、他機関、他法人との連携
   ・コロナ禍を経た福祉避難所の見直し
   ・高齢者緊急一時保護の継続
   ・外部組織・機関への積極的な参加・協力
2. 福祉教育活動の取り組み
   ・職場体験、実習の継続
   ・各種団体への講師（職員）派遣
3. 地域活性化の取り組み
   ・新しい生活様式に則ったつながりづくり
   ・地域のサロン活動への積極的な参加・協力
4. 「ichigoichie×SDGs」としての取り組み「住み続けられるまちづくりを」